

為替相場展望

2012年1月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/>

【目 次】

為替相場概説	1
相場回顧	2
為替関連指標の動向	3～6
トピックス	7～8
見通し	9
資料	

◆本資料は2012年1月5日17:00時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

◆本資料に関するご照会は、下記あてお願いいたします。

欧米経済・市場動向グループ

井上 肇 (Tel : 03-3288-5314 Mail : inoue.hajime@jri.co.jp)

為替相場概説（2012年1月）

1. 相場回顧

<12月のドル円相場>

上旬はEU首脳会議やECB理事会などの欧州情勢に市場の関心が向かうなか、77円台後半を中心に小動き。中旬には良好な米景気指標が相次ぐなか、78円台前半まで円安ドル高が進む場面があったものの、月末にかけては、米国が日本の為替介入に対して支持しないと表明したこと等から、76円台後半まで円が急上昇。

<12月のユーロ円相場>

EU首脳会議への期待から月初に105円台までユーロが強含んだものの、危機対応として即効性に乏しい首脳会議合意等を受けて、中旬にかけて101円台までユーロ安が進行。その後、ユーロが一旦下げ止まったものの、欧州債務問題への不安が根強いなか、月末には99円台前半までユーロ安が進行。

2. 為替関連指標の動向

<日米独金利差と日米欧の金融政策>

ECB理事会、EU首脳会議後に独金利が低下し、対ドル、対円でユーロ安に作用。先行き、米金利は良好な米景気指標を受けて、レンジを徐々に切り上げていく見込み。もっとも、米景気の回復ペースが緩やかにとどまるなか、FRBの超低金利政策の長期化が見込まれること等が金利上昇を抑制する見込み。独金利はユーロ圏の景気低迷や金融システム不安への対応から、ECBの追加金融緩和と低金利長期化が見込まれること等から、低位での推移が続く見込み。こうしたなか、内外金利差の大幅拡大は当面見込めず、本格的な円安基調への反転は期待薄。

<日米欧の貿易収支と生産・景況感格差>

11月の本邦貿易収支は、8ヵ月連続の赤字。2011年通年でも貿易赤字への転換が確実で、実需面での円高圧力は減退。当面は世界経済の減速、既往円高が輸出を下押しする一方、原発停止を受けた火力発電シフトによる燃料需要の増加等により、輸入は高止まりする見込み。このため、貿易収支の黒字基調回復にはなお時間がかかり、実需面での円高圧力は抑制される見込み。もっとも、経常黒字が維持されるもと、大幅な円安も期待薄。

日米ユーロ圏ともに生産は概ね足踏み状態に。先行き日米では緩やかな景気回復持続が見込まれるのに対し、ユーロ圏では年前半にマイナス成長が見込まれ、景況感格差からはユーロ安圧力となる公算。

<日本の対内対外証券投資動向>

日本の証券投資は、対内投資が堅調の一方、対外投資は低調が持続。日本への資金流入ペースは鈍化傾向ながら、先行きも海外投資家による日本国債への資金逃避が続く一方、本邦投資家による対外投資が低調にとどまる公算が大きく、引き続き円高に振れやすい状況。

<米国の証券投資・IMM通貨先物>

米国の証券投資は、海外からの対米証券投資が持ち直す一方、米国からの対外証券投資は低調に推移。欧州債務問題収束の兆しがみえないなか、当面は海外投資家のリスク回避の動きによる米国債投資が堅調に推移する一方、米国投資家による対外投資が低調に推移し、ドルをサポートする公算が大。

IMM通貨先物取引をみると、円のロング・ポジションは、昨年末にかけて減少し、ドルを下支え。先行き円買い圧力にも円売り戻し圧力にもなりうる状況。ユーロのショート・ポジションは、12月27日時点でユーロ導入以来の最高水準まで拡大し、ユーロ安を加速させる一因に。ユーロ売り余力が乏しくなるなか、短期的にはユーロ買い戻しの動きが生じる可能性。

3. トピックス

<トピックス①：米財政政策を巡る議会对立>

昨年末で期限が切れる予定であった給与税減税や失業保険給付は、2ヵ月間延長することで民主・共和両党の合意が成立。今後何らかの妥協で1年間の延長が決定されると期待。もっとも、議会对立の先鋭化により、延長交渉が決裂する可能性も现阶段では排除できず。その場合、景気の下振れ回避に向け、FRBが一段の金融緩和を余儀なくされる見込み。

<トピックス②：年前半に正念場を迎えるユーロ危機>

欧州では本年前半に南欧諸国での大量の国債償還等のリスクイベントが目白押し。ユーロが下振れしやすい展開が続く見通し。この間に危機対応が大きく前進するかどうかは年後半のユーロの動向を大きく左右する公算。年前半のリスクイベントに対して、ユーロ圏各国が抜本的な対策を打ち出していけば、年後半にユーロの下げ止まりも視野に。

4. 見通し

<ドル円相場の見通し>

わが国通貨当局による円高回避に向けた強い姿勢に加え、市場予想対比良好な米国の景気指標が相次ぐなか、ドルが底堅く推移する見込み。もっとも、米国の追加金融緩和観測が払拭されないなか、円高ドル安に振れるリスクが残存。米国景気の緩やかな回復持続が確認され、追加金融緩和観測が後退してくれば、ドルは底堅さを増し、徐々に1ドル=80円台乗せも視野に。

<ユーロ円相場の見通し>

南欧諸国での大量の国債償還などのリスクイベントが控えるなか、年前半はユーロが下振れしやすい展開が続く見通し。ユーロ圏の景気低迷が見込まれることや、ECBの追加金融緩和期待もユーロ下押しに作用。年前半のリスクイベントに向けて、ユーロ圏各国が抜本的な対策を打ち出していけば、年後半にユーロの下げ止まりも視野に。

相場回顧

ドル円は上旬77円台後半を中心に小動き。中旬に78円台まで円安に振れた後、月末に76円台まで円が急上昇。ユーロは月末に99円台までユーロ安が進行。

〈12月のドル円相場〉

上旬はEU首脳会議やECB理事会などの欧州情勢に市場の関心が向かうなか、77円台後半を中心に小動き。中旬には良好な米景気指標が相次いだほか、19日には北朝鮮の金正日総書記死去報道を受けて、極東の地政学リスクの高まりを意識した有事のドル買いもあり、78円台前半まで円安ドル高が進む場面も。月末にかけては、米国が日本の為替介入に対して支持しないと表明したこと等から、76円台後半まで円が急上昇。

〈12月のユーロ円相場〉

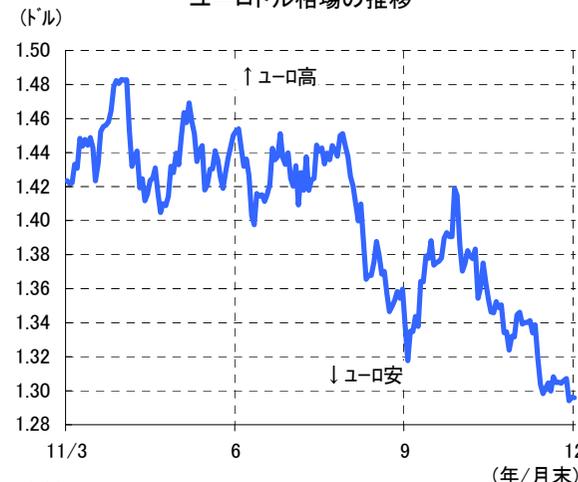
8～9日のEU首脳会議で危機対応が前進するとの期待から月初に105円台までユーロが強含んだものの、①米格付け機関によるユーロ圏15カ国の国債やEFSF債の格下げ方向での見直し、②ECBによる政策金利引き下げ、③ドラギECB総裁による国債購入拡大やIMFへの融資に対する否定的な見解表明、④危機対応として即効性に乏しい首脳会議合意、等を受けて、中旬にかけて101円台までユーロ安が進行。その後、ユーロが一旦下げ止まったものの、月末にかけては、ECBのバランスシート拡大が明らかになったほか、2012年前半に南欧諸国の大量の国債償還を控えるなど、欧州債務問題への不安が根強いなか、月末には99円台前半までユーロ安が進行。

ドル円相場の推移



(資料)Bloomberg L.P.

ユーロドル相場の推移



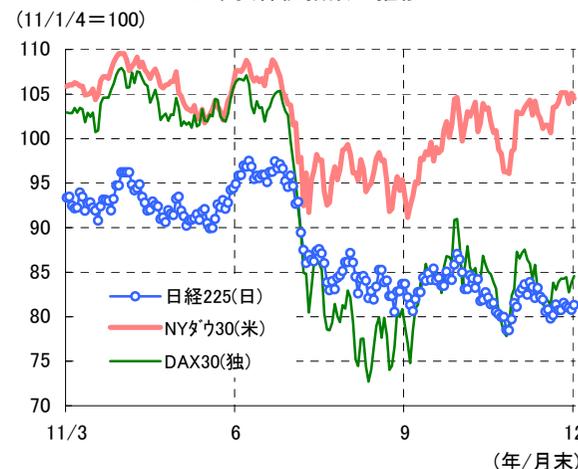
(資料)Bloomberg L.P.

ユーロ円相場の推移



(資料)Bloomberg L.P.

日米独株価指数の推移

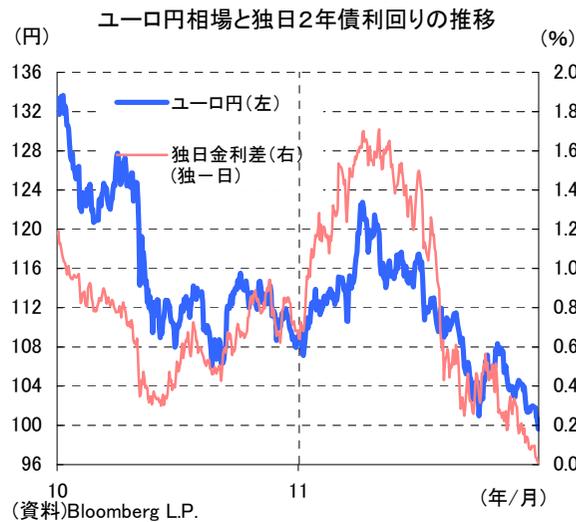
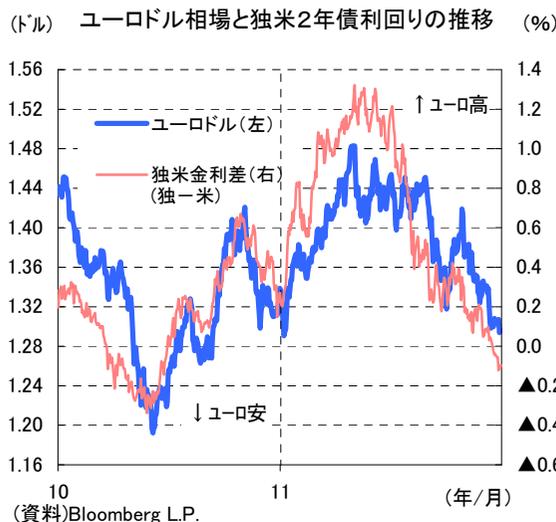
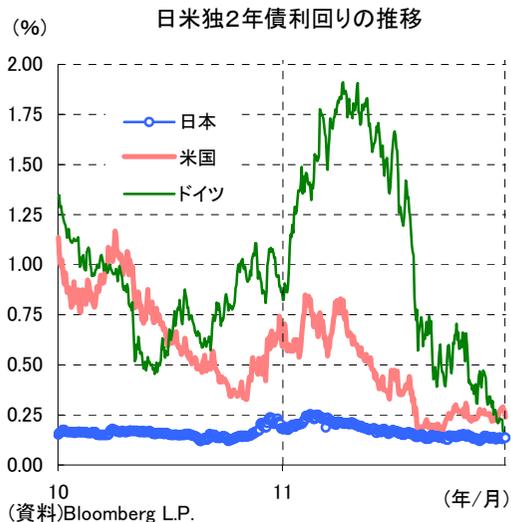


(資料)Bloomberg L.P.

内外金利差の大幅拡大が当面見込めないなか、本格的な円安基調への反転は期待薄。

12月の米2年債利回りは、市場予想対比良好な米景気指標が相次ぐなか、月後半に小幅上昇する場面はあったものの、狭いレンジでの推移。独2年債利回りは、8日の理事会でECBが政策金利を0.25%引き下げたことに加え、8~9日のEU首脳会議後も欧州債務不安が払拭されないなか、逃避資金が流入し、低下。この間、わが国の2年債利回りは、底這い推移。この結果、ECB理事会、EU首脳会議後の独金利の低下が、対ドル、対円でユーロ安に作用。

先行き、米2年債利回りは、良好な米景気指標を受けて、レンジを徐々に切り上げていく見込み。もっとも、米景気の回復ペースが緩やかにとどまるなか、FRBの超低金利政策の長期化が見込まれることや、欧州債務問題深刻化を受けたユーロ圏や新興国からの逃避資金流入などが金利上昇を抑制する見込み。独2年債利回りは、ユーロ圏の景気低迷や金融システム不安への対応から、ECBの追加金融緩和と低金利長期化が見込まれるほか、債務問題深刻化を受けた周辺国からの逃避資金流入もあり、低位での推移が続く見込み。一方、わが国では、経済・金融情勢次第で日銀の追加金融緩和が見込まれるものの、2年債利回りの低下余地は限定的。こうしたなか、内外金利差の大幅拡大は当面見込めず、本格的な円安基調への反転は期待薄。



貿易収支の黒字基調回復にはなお時間がかかり、実需面からの円高圧力が抑制される見込み。景況感格差からは、ユーロ安圧力となる公算。

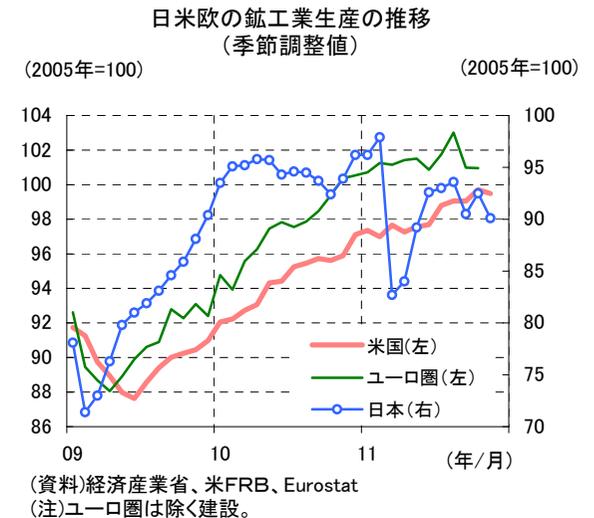
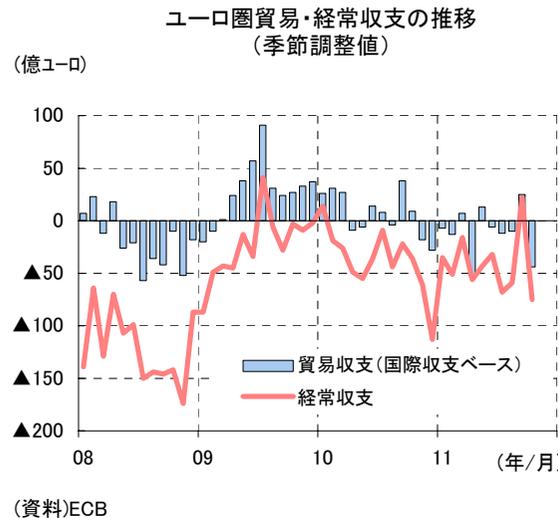
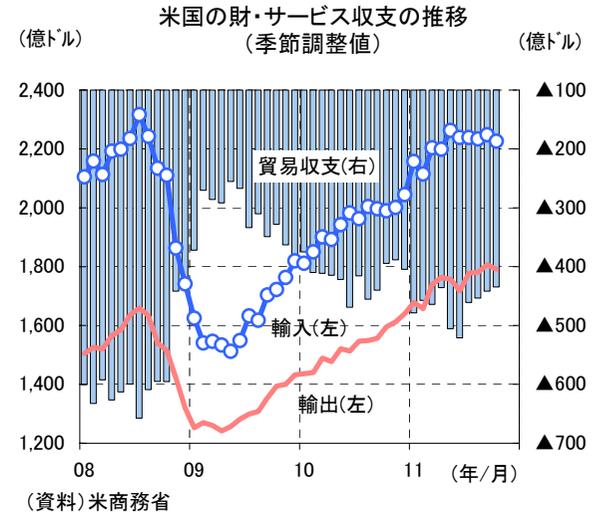
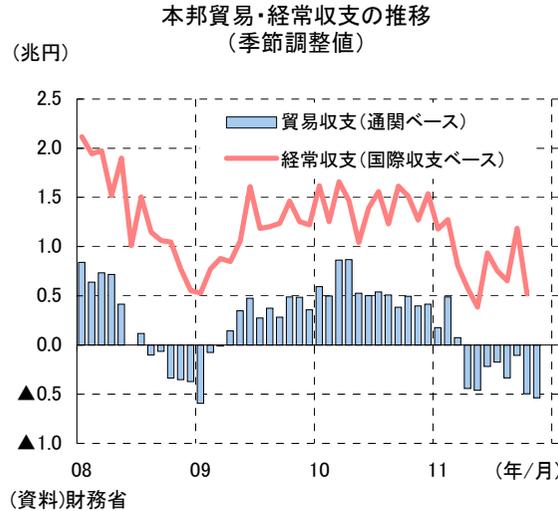
<日米欧の貿易収支>

11月の本邦貿易収支は、世界経済の減速、既往円高、タイの洪水の影響等により、輸出の減少幅が拡大し、▲5,379億円と8ヵ月連続の赤字。2011年通年でも貿易赤字への転換が確実で、実需面での円高圧力は減退。タイの洪水の影響は収束しつつあるものの、当面は世界経済の減速、既往円高が輸出を下押しする一方、原発停止を受けた火力発電シフトによる燃料需要増加等により、輸入は高止まりする見込み。このため、貿易収支の黒字基調回復にはなお時間がかかり、実需面での円高圧力は抑制される見込み。もっとも、経常黒字が維持されるもと、大幅な円安も期待薄。

10月の米貿易赤字は、▲434.7億ドルと4ヵ月連続で赤字幅が縮小し、実需面でのドル安圧力は減退しつつある状況。10月のユーロ圏の貿易収支は、▲44.0億ユーロと赤字転化し、実需面でのユーロ安圧力に。

<日米欧の生産・景況感格差>

11月の本邦鉱工業生産は、タイの洪水を受けた部品不足の影響等から、前月比▲2.6%と減少。12月には回復の見込みながら、10～12月期の生産は概ね足踏み状態となる見込みで、震災後の急速な持ち直し局面は一巡。一方、11月の米鉱工業生産は前月比▲0.2%と7ヵ月ぶりの減少、10月のユーロ圏鉱工業生産は前月比▲0.1%と続落。先行き日米では緩やかな景気回復持続が見込まれるのに対し、ユーロ圏では年前半にマイナス成長が見込まれ、景況感格差からはユーロ安圧力となる公算。



日本の対内対外証券投資動向

日本の証券投資フローは、対内投資が堅調の一方、対外投資の低調が持続。資金流入ペースは鈍化傾向ながら、引き続き円高に振れやすい状況。

〈月次対内対外証券投資(10月迄)〉

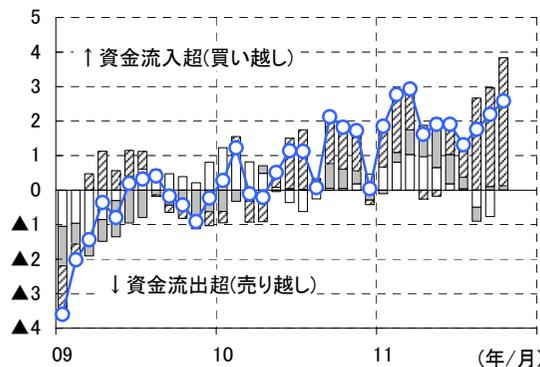
対内証券投資は、昨年入り以降、買い越しが持続。昨夏以降は世界的な景気の先行き懸念や欧米の債務問題への懸念から、海外投資家のリスク回避の動きが強まり、株式投資が減少する一方、短期債を中心に債券投資が増加。一方、対外証券投資は、昨夏以降、中長期債への投資を中心にやや回復傾向ながら、前年対比、依然として低水準。トータルで見ると、日本への資金流入ペースは鈍化傾向で、円高圧力は緩和の方向。

〈週次対内対外証券投資(11月以降)〉

11月以降、対内証券投資は、短期債への投資が堅調で、買い越し(資金流入超)基調で推移。一方、対外証券投資は、低調に推移。

12月8～9日のEU首脳会議後も欧州債務問題への懸念が払拭されないなか、リスク回避の動きが持続。加えて、米欧ともに金利先高観が乏しく、内外金利差の拡大も見込み難い状況。こうしたなか、海外投資家による日本国債への資金逃避が続く一方、本邦投資家による対外投資が低調にとどまる公算が大きく、引き続き円高に振れやすい状況。

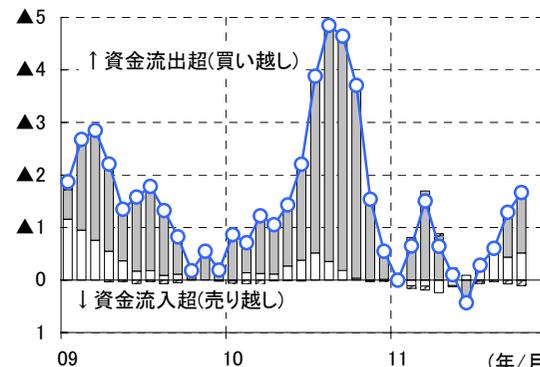
(兆円) 対内証券投資の推移(月次)



□ 株式 ■ 中長期債 ▨ 短期債 ○ 計

(資料)財務省、日銀
(注)いずれも3ヵ月移動平均値。

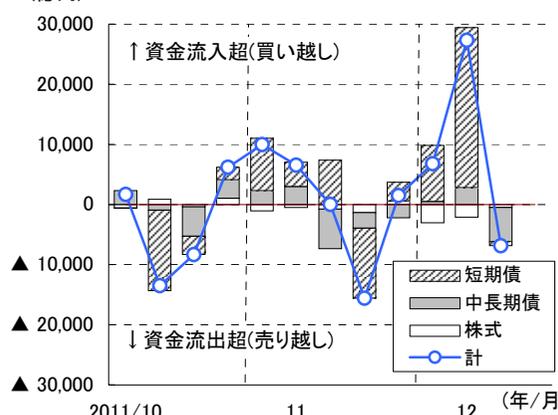
(兆円) 対外証券投資の推移(月次)



□ 株式 ■ 中長期債 ▨ 短期債 ○ 計

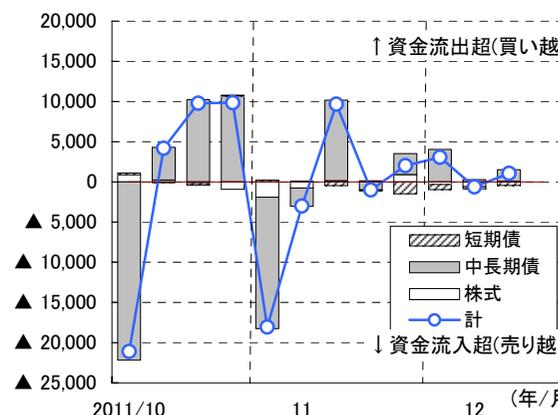
(資料)財務省、日銀
(注)いずれも3ヵ月移動平均値。

(億円) 対内証券投資の推移(週次)



(資料)財務省

(億円) 対外証券投資の推移(週次)



(資料)財務省

米国の証券投資フローがドルをサポート。投機筋のユーロ売り持ちは最高水準まで拡大し、短期的にはユーロ買い戻しの可能性。

〈米国の対内対外証券投資動向〉

海外からの対米証券投資は、昨夏以降、持ち直し傾向。一方、米国からの対外証券投資は、低調に推移。世界経済の減速、欧州債務問題の深刻化等により、海外投資家による米国債への資金逃避が活発化する一方、米国投資家による対外投資が慎重化していることが背景。

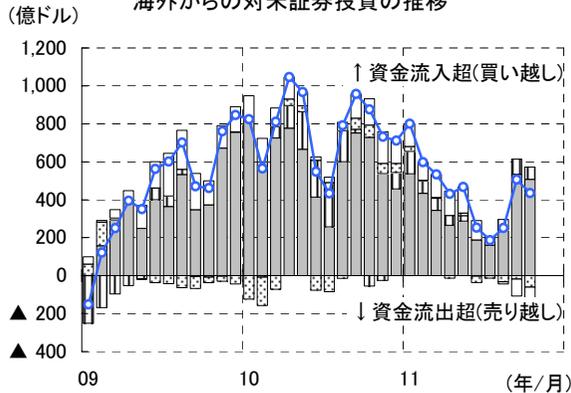
欧州債務問題の収束の兆しがみえないなか、当面は海外投資家のリスク回避の動きによる米国債投資が堅調に推移する一方、米国投資家による対外投資が低調に推移し、ドルをサポートする公算が大。

〈IMM通貨先物ポジション〉

投機筋の動向を示すIMM通貨先物取引をみると、円のロング・ポジション（円の買い持ち）は、昨年末にかけて減少し、ドルを下支え。先行き円買い圧力にも円売り戻し圧力にもなりうる状況。

ユーロのショート・ポジション（ユーロの売り持ち）は、12月27日時点でユーロ導入以来の最高水準まで拡大し、ユーロ安を加速させる一因に。もっとも、ユーロ売り余力が乏しくなるなか、短期的にはユーロ買い戻しの動きが生じる可能性。

海外からの対米証券投資の推移



■ 米国債 ■■■ 政府機関債 ■■■■ 社債 □ 株式 ○ 計

(資料)米財務省
(注)いずれも3カ月移動平均値。

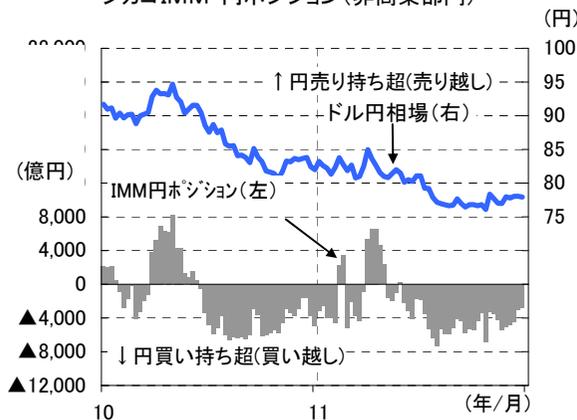
米国からの対外証券投資の推移



□ 株式 ■■■ 債券 ○ 計

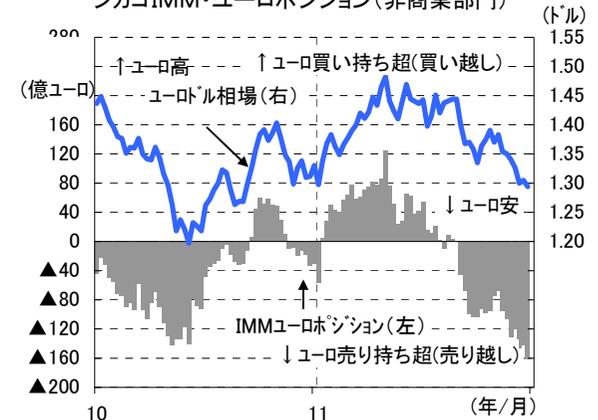
(資料)米財務省
(注)いずれも3カ月移動平均値。

シカゴIMM・円ポジション(非商業部門)



(注)直近値は12/27。
(資料)米CFTC

シカゴIMM・ユーロポジション(非商業部門)



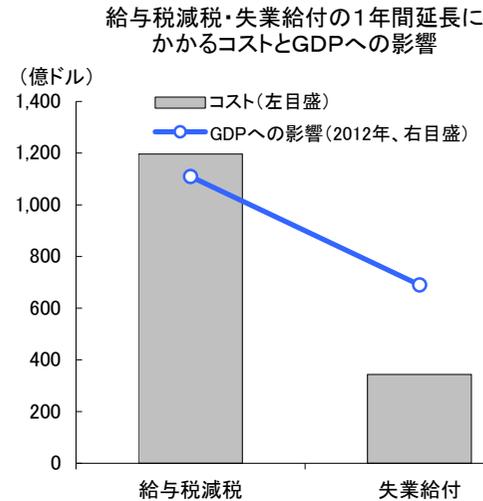
(注)直近値は12/27。
(資料)米CFTC

トピックス①:米財政政策を巡る議会对立

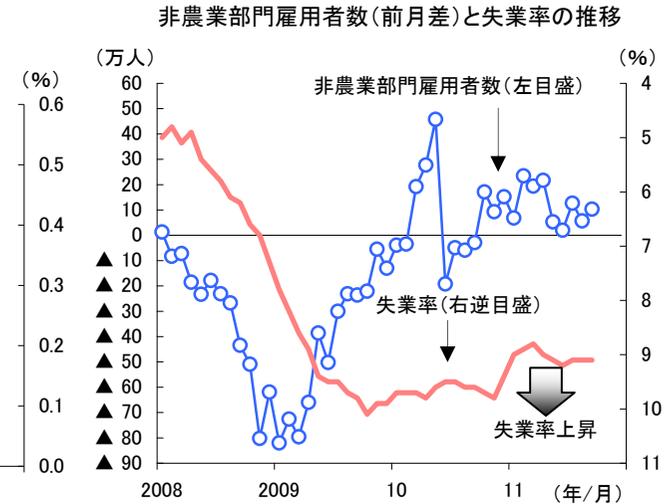
米財政政策次第で米景気が下振れる可能性があり、金融緩和を通じたドル安リスクが残存。

昨年末で期限が切れる予定であった給与税減税や失業保険給付は、昨年12月24日に取りあえず2ヵ月間延長することで民主・共和両党の合意が成立。延長の必要性では一致していたものの、その財源を巡り、増税を志向する民主党と歳出削減を志向する共和党との間で対立が解けず、2ヵ月間の延長となった経緯。減税措置が失効すれば、個人消費の下振れにより、米景気にマイナス影響（2012年のGDPを1%弱下押しすると試算）を与えかねなかったため、2ヵ月間の延長が成立したことで、円高ドル安リスクのひとつが後退した格好。

本年初以降、給与税減税、失業保険給付を1年間延長するための交渉が議会で再開される予定。11月の大統領・議会選挙を控え、両党ともに高い失業率、低調な雇用環境等に対する国民の強い不満に配慮して景気・雇用対策を重視せざるを得ないことから、何らかの妥協で1年間の延長が決定されると期待。もっとも、昨年の債務上限引き上げ協議難航や、財政赤字削減交渉決裂にみられる通り、議会对立の先鋭化により、給与税減税や失業保険給付の延長交渉が決裂する可能性も現段階では排除できず。その場合、景気の下振れ回避に向け、FRBが一段の金融緩和を余儀なくされる見込み。ちなみに、2009年以降、FRBによる量的緩和がドル安を招来。財政政策面からの景気下振れリスクが払拭されない限り、金融緩和を通じたドル安リスクが根強く残る見込み。



(資料)CBOなどをもとに日本総研作成



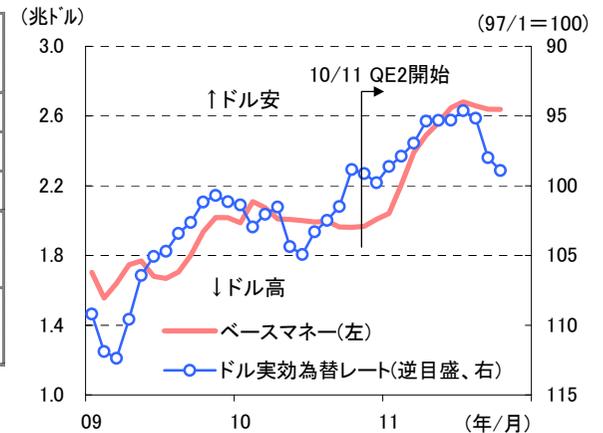
(資料)Bureau of Labor Statistics

米財政政策を巡る議会の攻防

2011年4月	暫定予算の延長で、政府機関の閉鎖を直前で回避
8月	債務上限引き上げ交渉が期限直前で合意
9月	オバマ大統領が雇用・景気対策を発表
11月	超党派委員会での財政赤字削減交渉が決裂
12月	給与税減税、失業保険給付の2ヵ月間の延長で合意
2012年1月以降	給与税減税、失業保険給付の1年間の延長協議再開

(資料)日本総研作成

米ベースマネーとドル実効為替レートの推移



(資料)FRB

(株)日本総合研究所 為替相場展望 2012年1月

トピックス②: 年前半に正念場を迎えるユーロ危機

年前半はリスクイベントが控えるなか、ユーロが下振れしやすい状況。この間に危機対応が大きく前進すれば、年後半にユーロ下げ止まりも視野。

昨年12月8～9日のEU首脳会議において、①財政規律の強化、②IMFへの資金拠出、③ESM（欧州安定メカニズム）設立の前倒し、が合意されたものの、合意内容が危機対応として即効性に乏しく、課題も山積。一方、ECBも8日の理事会で政策金利の引き下げと3年物流動性供給オペ導入を決定したものの、ドラギECB総裁がユーロ圏の国債購入拡大やIMFへの融資に否定的な見解を表明。この結果、12月のECB理事会、EU首脳会議後にユーロ安が進行。

欧州債務問題への懸念が払拭されないなか、欧州では本年前半に、①格付け機関によるユーロ圏諸国の国債およびEFSF債の格付け見直し、②南欧諸国での大量の国債償還、③ESM（欧州安定メカニズム）を巡る条約改正やESMの制度変更での各国の国内手続き、等のリスクイベントが目白押し。ユーロが下振れしやすい展開が続く見通し。

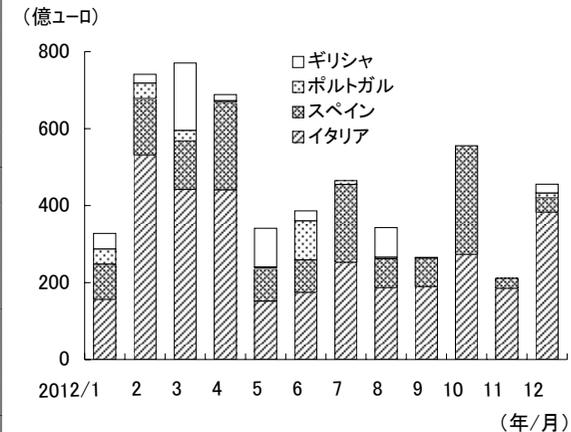
この間に危機対応が大きく前進するかどうかは年後半のユーロの動向を大きく左右する公算。これまでの欧州の危機対応は、危機が発生してはじめて各国や政策当局が対処療法的な対策を小出しにするという展開の繰り返し。年前半のリスクイベントに対して、ユーロ圏各国が抜本的な対策を打ち出していけば、年後半にユーロの下げ止まりも視野に。

2012年前半の欧州での主なイベント日程

1月	EU首脳会議(1/30)
	米S&Pによるユーロ圏諸国の国債およびEFSF債の格付け見直し結果発表(時期不明)
	ギリシャの債務交換合意
	EFSF本格稼働
2月	南欧諸国での大量の国債償還(2～4月がピーク)
	ギリシャ総選挙(時期未定)
3月	EU首脳会議(3/1～2)
	財政規律の強化策を盛り込む新条約案を決定
4月	仏大統領選挙(4/22、第1回投票)
5月	仏大統領選挙(5/6、決選投票)
6月	EU首脳会議(6/28～29)
	欧州銀行の資本増強期限

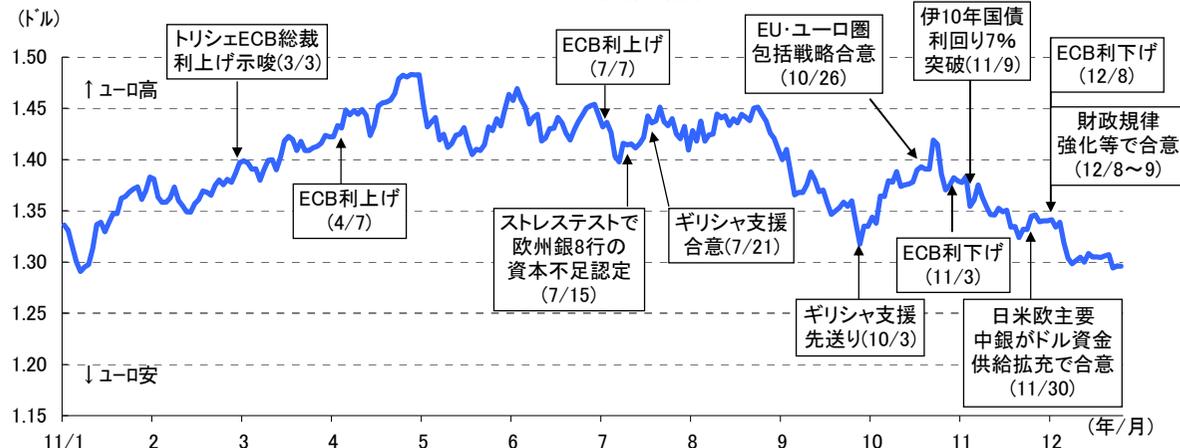
(資料)日本総研作成

南欧諸国の国債償還予定額(2012年)



(資料)Bloomberg L.P.をもとに日本総研作成

ユーロドル相場の推移



(資料)Bloomberg L.P.をもとに日本総研作成

(株)日本総合研究所 為替相場展望 2012年1月

見通し

ドル円は底堅く推移する見込みながら、円高リスクが残存。米追加緩和観測が後退すれば、年後半に80円台乗せも視野。ユーロ円は年前半に下振れしやすい展開が続く見込み。危機対応が大きく前進すれば、年後半に下げ止まりも視野。

＜ドル円相場の見通し＞

わが国通貨当局による円高回避に向けた強い姿勢に加え、市場予想対比良好な米景気指標が相次ぐなか、ドルが底堅く推移する見込み。もっとも、欧州債務問題深刻化や米財政政策を巡る議会对立等の影響による米景気の下振れ懸念から、米国の追加金融緩和観測が払拭されておらず、当面円高に振れるリスクが根強く残る見通し。

米景気の緩やかな回復持続が確認され、米国の追加金融緩和観測が後退してくれば、ドルは底堅さを増し、徐々に1ドル＝80円台乗せも視野に。もっとも、米景気の力強い回復が期待薄のなか、FRBの超低金利政策の長期化が予想されるため、円安ドル高基調明確化には至らない見込み。

＜ユーロ円相場の見通し＞

年前半は、南欧諸国での大量の国債償還などのリスクイベントが控えるなか、ユーロが下振れしやすい展開が続く見込み。ユーロ圏の景気低迷が見込まれることや、ECBの追加金融緩和期待もユーロ下押しに作用する見込み。

年前半のリスクイベントに向けて、ユーロ圏各国が抜本的な対策を打ち出していけば、年後半にユーロの下げ止まりも視野に。もっとも、欧州債務問題が鎮静化に向かったとしても、ユーロ圏景気の低迷やECBの低金利政策の長期化が予想されることから、ユーロ高基調への反転は期待薄。

ドル円相場見通し

	2011年		2012年		
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
期中平均	77.35	78	78	79	80
(高値)	79.54	80	80	81	82
レンジ	∩	∩	∩	∩	∩
(安値)	75.35	75	75	76	77

予測 →

ユーロ円相場見通し

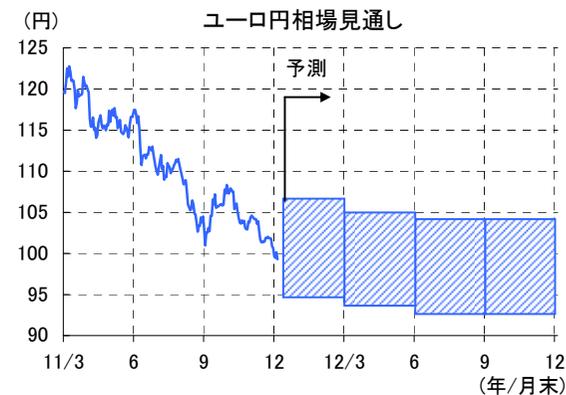
	2011年		2012年		
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
期中平均	104.2	100	99	98	98
(高値)	111.6	106	105	104	104
レンジ	∩	∩	∩	∩	∩
(安値)	99.41	94	93	92	92

予測 →

ユーロドル相場見通し

	2012年				
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
期中平均	1.35	1.29	1.27	1.25	1.24
(高値)	1.42	1.36	1.34	1.32	1.31
レンジ	∩	∩	∩	∩	∩
(安値)	1.29	1.22	1.20	1.18	1.17

予測 →



(株)日本総合研究所 為替相場展望 2012年1月

内外市場データ（月中平均）

	短期金利		ユーロ円(TIBOR)		円・円スワップ			国債 10年物 (%)	プライムレート		為替相場		日経平均 株価 (円)	米国市場				欧州市場	
	公定歩合 (%)	無担0/N (%)	3カ月 (%)	6カ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年 (%)		短期 (%)	長期 (%)	¥/\$	¥/Eur		F F 0/N	1-03カ月	10年国債	N Yダウ 工業株	1-03カ月	10年国債
08/1	0.75	0.502	0.85	0.89	0.83	1.09	1.60	1.42	1.875	2.10	107.66	158.14	13731.31	3.93	3.93	3.72	12538.12	4.48	4.05
08/2	0.75	0.504	0.85	0.88	0.89	0.96	1.64	1.44	1.875	2.15	107.16	158.18	13547.84	2.97	3.12	3.73	12419.57	4.36	3.96
08/3	0.75	0.511	0.86	0.89	0.92	1.08	1.51	1.30	1.875	2.10	100.79	156.28	12602.93	2.60	2.85	3.48	12193.88	4.60	3.81
08/4	0.75	0.506	0.84	0.88	0.98	1.16	1.59	1.41	1.875	2.10	102.49	161.53	13357.70	2.26	3.02	3.64	12656.63	4.78	4.05
08/5	0.75	0.505	0.84	0.88	1.18	1.47	1.87	1.67	1.875	2.40	104.14	162.05	13995.33	1.99	2.84	3.87	12812.48	4.86	4.20
08/6	0.75	0.509	0.84	0.89	1.30	1.62	1.99	1.75	1.875	2.45	106.90	166.23	14084.60	2.00	2.95	4.08	12056.67	4.94	4.55
08/7	0.75	0.503	0.85	0.90	1.18	1.44	1.82	1.60	1.875	2.40	106.81	168.35	13168.91	2.02	3.00	3.97	11322.38	4.96	4.50
08/8	0.75	0.504	0.85	0.89	1.01	1.26	1.66	1.45	1.875	2.25	109.28	163.75	12989.35	1.99	3.00	3.88	11530.75	4.96	4.22
08/9	0.75	0.495	0.85	0.90	1.05	1.31	1.69	1.48	1.875	2.30	106.75	153.25	12123.53	1.86	3.95	3.68	11114.08	5.02	4.10
08/10	0.50	0.487	0.88	0.91	1.02	1.27	1.55	1.50	1.875	2.35	100.33	133.49	9117.03	1.01	5.31	3.78	9176.71	5.11	3.90
08/11	0.50	0.301	0.82	0.86	0.89	1.13	1.48	1.46	1.675	2.40	96.81	123.25	8531.45	0.39	3.11	3.46	8614.55	4.23	3.57
08/12	0.30	0.211	0.86	0.88	0.85	1.02	1.32	1.31	1.675	2.40	91.28	122.79	8463.62	0.17	2.47	2.40	8595.56	3.29	3.06
09/1	0.30	0.120	0.73	0.78	0.75	0.94	1.26	1.25	1.475	2.25	90.41	119.68	8331.49	0.15	1.73	2.47	8396.20	2.45	3.09
09/2	0.30	0.111	0.71	0.77	0.72	0.89	1.19	1.29	1.475	2.25	92.50	118.33	7694.78	0.22	1.65	2.85	7749.01	1.96	3.17
09/3	0.30	0.100	0.68	0.75	0.74	0.91	1.25	1.30	1.475	2.25	97.87	127.44	7764.58	0.18	1.62	2.80	7235.47	1.63	3.06
09/4	0.30	0.104	0.62	0.72	0.75	0.99	1.39	1.44	1.475	2.30	99.00	130.50	8767.96	0.15	1.49	2.90	7992.12	1.42	3.19
09/5	0.30	0.102	0.58	0.70	0.69	0.94	1.36	1.44	1.475	2.10	96.30	131.92	9304.43	0.17	1.23	3.30	8398.37	1.28	3.42
09/6	0.30	0.104	0.56	0.68	0.68	0.92	1.41	1.47	1.475	2.10	96.52	135.46	9810.31	0.21	1.07	3.70	8593.00	1.23	3.55
09/7	0.30	0.102	0.56	0.67	0.62	0.86	1.37	1.34	1.475	1.90	94.50	133.00	9691.12	0.16	0.91	3.53	8679.75	0.95	3.36
09/8	0.30	0.106	0.55	0.66	0.60	0.88	1.46	1.37	1.475	1.95	94.84	135.40	10430.35	0.16	0.69	3.57	9375.06	0.83	3.33
09/9	0.30	0.102	0.53	0.65	0.65	0.83	1.41	1.31	1.475	1.80	91.49	132.80	10302.87	0.15	0.53	3.39	9634.97	0.73	3.29
09/10	0.30	0.106	0.53	0.64	0.58	0.86	1.47	1.33	1.475	1.70	90.29	133.87	10066.24	0.12	0.49	3.36	9857.34	0.69	3.23
09/11	0.30	0.105	0.52	0.63	0.56	0.83	1.48	1.35	1.475	1.85	89.19	132.98	9640.99	0.12	0.25	3.38	10227.55	0.67	3.28
09/12	0.30	0.101	0.47	0.59	0.48	0.71	1.39	1.26	1.475	1.65	89.55	130.95	10169.01	0.12	0.25	3.59	10433.44	0.67	3.23
10/1	0.30	0.096	0.45	0.57	0.48	0.72	1.42	1.33	1.475	1.65	91.16	130.30	10661.62	0.12	0.24	3.71	10471.24	0.63	3.29
10/2	0.30	0.101	0.44	0.56	0.47	0.72	1.41	1.33	1.475	1.65	90.28	123.58	10175.13	0.13	0.23	3.68	10214.51	0.60	3.19
10/3	0.30	0.097	0.44	0.55	0.46	0.71	1.40	1.34	1.475	1.60	90.52	122.96	10671.49	0.16	0.23	3.71	10677.52	0.59	3.13
10/4	0.30	0.093	0.41	0.52	0.47	0.72	1.40	1.35	1.475	1.65	93.38	125.57	11139.77	0.20	0.25	3.82	11052.15	0.59	3.09
10/5	0.30	0.091	0.39	0.50	0.48	0.69	1.34	1.27	1.475	1.60	91.74	114.68	10103.98	0.20	0.36	3.40	10500.19	0.63	2.80
10/6	0.30	0.095	0.39	0.50	0.47	0.65	1.27	1.20	1.475	1.45	90.92	110.99	9786.05	0.18	0.45	3.19	10159.25	0.66	2.63
10/7	0.30	0.094	0.37	0.49	0.45	0.59	1.16	1.09	1.475	1.45	87.72	111.81	9456.84	0.18	0.43	2.98	10222.24	0.79	2.65
10/8	0.30	0.095	0.37	0.49	0.43	0.54	1.04	0.98	1.475	1.45	85.47	110.36	9268.24	0.19	0.35	2.68	10350.40	0.83	2.37
10/9	0.30	0.090	0.36	0.47	0.41	0.55	1.13	1.06	1.475	1.45	84.38	109.94	9346.72	0.20	0.31	2.64	10598.07	0.83	2.34
10/10	0.30	0.091	0.34	0.45	0.38	0.47	0.97	0.89	1.475	1.30	81.87	113.65	9455.09	0.19	0.29	2.51	11044.49	0.94	2.37
10/11	0.30	0.091	0.34	0.45	0.40	0.55	1.12	1.05	1.475	1.40	82.48	112.64	9797.18	0.20	0.29	2.75	11198.31	0.98	2.56
10/12	0.30	0.087	0.34	0.45	0.41	0.64	1.27	1.19	1.475	1.60	83.41	110.28	10254.46	0.18	0.29	3.28	11465.26	0.95	2.96
11/1	0.30	0.085	0.34	0.45	0.41	0.64	1.27	1.21	1.475	1.50	82.63	110.53	10449.53	0.17	0.29	3.36	11802.37	0.95	3.05
11/2	0.30	0.093	0.34	0.45	0.43	0.71	1.34	1.28	1.475	1.65	82.53	112.70	10622.27	0.16	0.31	3.56	12190.00	1.04	3.23
11/3	0.30	0.085	0.34	0.45	0.40	0.64	1.29	1.25	1.475	1.60	81.79	114.48	9852.45	0.14	0.31	3.40	12081.48	1.13	3.25
11/4	0.30	0.062	0.33	0.44	0.39	0.65	1.32	1.27	1.475	1.70	83.35	120.34	9644.63	0.10	0.27	3.43	12434.88	1.27	3.35
11/5	0.30	0.069	0.33	0.44	0.37	0.56	1.19	1.14	1.475	1.55	81.23	116.03	9650.78	0.09	0.26	3.15	12579.99	1.38	3.11
11/6	0.30	0.069	0.33	0.44	0.37	0.54	1.15	1.13	1.475	1.50	80.51	115.82	9541.53	0.09	0.24	2.99	12097.31	1.43	2.97
11/7	0.30	0.073	0.33	0.44	0.37	0.53	1.13	1.11	1.475	1.50	79.47	113.52	9996.68	0.07	0.22	2.98	12515.68	1.54	2.78
11/8	0.30	0.081	0.33	0.44	0.33	0.46	1.03	1.02	1.475	1.35	77.22	110.62	9072.94	0.10	0.26	2.29	11326.62	1.50	2.25
11/9	0.30	0.080	0.33	0.43	0.34	0.46	1.00	1.00	1.475	1.40	76.84	105.89	8695.42	0.08	0.31	1.96	11175.45	1.48	1.87
11/10	0.30	0.081	0.33	0.43	0.35	0.47	1.01	1.01	1.475	1.40	76.77	105.24	8733.56	0.07	0.36	2.13	11515.93	1.51	2.04
11/11	0.30	0.073	0.31	0.41	0.35	0.45	0.95	0.94	1.475	1.40	77.54	105.05	8506.11	0.08	0.36	2.00	11804.33	1.43	1.95
11/12	0.30	0.078	0.33	0.43	0.38	0.49	1.00	1.00	1.475	1.40	77.85	102.58	8505.99	0.07	0.37	1.97	12075.68	1.36	1.99

(注) 公定歩合とプライムレートは月末値。